

日・EAC投資セミナーにおける石原外務大臣政務官
挨拶

平成26年3月28日

ご列席の皆様。

本日は、日・EAC投資セミナーの開催に際し、実に多くの方々にお集まりいただき、日本政府を代表して御礼申し上げます。

近年のアフリカは目覚ましい経済成長を遂げ、我が国の貿易・投資先として注目を集めています。本年1月の安倍総理のコートジボワール・モザンビーク・エチオピア訪問には多くの民間企業のCEOの方々を経済ミッションとして同行されました。

私自身も、就任以来数度にわたりアフリカを訪問しました。今月の5日から8日にかけては、EAC議長国であるケニアを訪問し、発展するナイロビの街並みや進出している日系企業の活動を視察しました。アフリカの経済発展を体感するとともに、多くのビジネスチャンスがあると感じました。

一方で、アフリカでのビジネスには、人材・インフラ、通関、平和と安定等、我が国企業が進出するためには、克服されるべき課題があると感じています。

我が国は昨年6月に開催された第五回アフリカ開発会議（T I C A D V）において、今後5年間でODA約1.4兆円を含む最大約3.2兆円の官民の取組を打ち出しました。これを着実に実施し、アフリカの課題の解決に貢献します。

E A C地域は関税同盟や通貨統合等の地域統合に向けた取組を強化しています。さらに、東アフリカのゲートウェイたるケニアのモンバサ港やタンザニアのダルエスサラーム港を有し、今後も物流・インフラ・製造業等様々な分野で経済発展の可能性があり、今後も経済成長が見込まれる地域です。

本日のセミナーの開催を通じ、我が国企業関係者のE A C地域におけるビジネス環境に関する理解が深まるとともに、我が国企業とE A C加盟国関係者の人的交流が強化されることを希望いたします。その結果、より多くの我が国企業がE A C地域に進出するきっかけとなれば幸いです。

そして、我が国企業の進出がE A C地域の経済発展に貢献し、我が国とE A C加盟国との関係がより強固なものとなることを期待しております。

ご静聴ありがとうございました。